



図書館だより

No.41

令和2年7月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

図書館ホームページ <https://lib.city.iruma.saitama.jp/>

少しだけ

図書館がリニューアルしました！

入間市立図書館は、蔵書点検および新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、3月9日（月）より臨時休館をしていましたが、段階的にサービスを再開し、7月1日（水）からほぼ通常どおりの開館となりました。

休館中は、大変ご不便をおかけいたしました。図書館では、再開に向けて皆様に安心してご利用いただけるように準備を進めてきました。

今回は、休館中の図書館の様子をご紹介します。

Did you notice?

臨時休館の間に、図書館では壁の飾りなどを新しくしました！
皆さん気がつきましたか？

世界の昔話の絵本を集めました。（西武）



西武分館

新聞の閲覧台をご利用いただけるようになりました。（西武）



カウンターまわりを、6月をイメージして
装飾しました。（金子）

金子分館



休館中に入った新刊本に、金子分館
スタッフがおすすめる本のポップ
をつけました。（金子）



藤沢分館

「あれこれブックガイド」コーナー
棚を対象年齢で色分けし、見やすい表示をつ
けました。紹介文をポップにしたことで本の
内容がわかりやすくなりました。読む本に迷
ったらこちらの棚をご覧ください。(藤沢)



おはなし会室
しばらくは利用できませんが、みんな
と一緒に過ごした楽しい写真をたくさ
ん展示しました。また再開できる日を
楽しみにしています。(藤沢)



児童コーナー
絵の見出し板を作りました。まだ文
字が読めない子どもたちにも絵を見
てどんな本が置いてあるのか分かる
ようにしました。(藤沢)



児童コーナー
ポップは担当が1枚1枚、手書きで心をこ
めて書いています。ポップのついている資
料はもちろん貸出できます。そのままカウ
ンターまでお持ちください。(藤沢)



利用が増えているティーンズ
コーナーにも装飾をしまし
た。(藤沢)



新刊コーナーの飾り
よく見ると鳥がカゴをくわえて、
本を運んでいます。
心躍る本に出合えますように！
(本館)



あおい目のこねこ
児童書の棚に行くと、かわいいねこ
が寝そべっています。どこにいるか
わかるかな？ (本館)



入口前の「ウェルカムボード」
このボードが華やかにみなさん
をお出迎え！1枚1枚、丁寧に花び
らが作られています。(本館)



本館



見出し板
色あせていたものを新しく作り直して、はっきり見えるようにしました。(本館)

児童コーナーの飾り
子どもたちが本を選ぶ時に、楽しい気持ちになるようお願いをこめて作り直しました。この他にも、たぬきや雪の壁飾りがあります。(本館)



ホームページには、ほくの「ぬり絵」や、やまぼと号のペーパークラフトがあるよ！ぬり絵をしたり、やまぼと号を組み立てたりして、遊んでみてね！



読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの どんぐり(本館)・かざぐるま(西武分館)・おはなし^{まどか}円(西武分館)・茶の花(金子分館)・トトロ(藤沢分館)です。各グループより、最新情報をお届けします。

どんぐり 新型コロナウイルス感染症で自粛の中、本の貸出のありがたさを痛感しました。読み聞かせが再開されたら楽しい本をたくさん読みたいと思います。待っていてください。

かざぐるま 図書館が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館をしていた間は、気持ちがふさぐようでした。絵本や様々なジャンルの本を見たい、読みたい。そして、読み聞かせの復活を待ちわびるばかりです。

おはなし^{まどか}円 外出がままならない中、やっぱり本はいいなーと思いました。本は勿論のこと「お話し」も直接人の心に語りかけます。ほっこりしているものです。日常がもどってきたらまた西武分館でお会いしましょう。

茶の花 コンニチハ、コンニチハ、まあるい窓からコンニチハ♪ ブーブーこぶたが、コンニチハ♪ おはなし会の初めのあいさつ覚えていますか。みなさんに会える日を楽しみに、あれこれ本を選んでいきます。

トトロ 新型コロナウイルス感染症で、春のイベントはできませんでしたが、夏のおたのしみ会では皆さんに会えますように…それまでお元気でね！

イベントについても中止していましたが、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。



大人のためのBookガイド

『ものがたり 茶と中国の思想』佐野典代／著 平凡社《383.889/サ》

不老不死を目指す道教の教えに基づく中国では、元来「お茶」は体内の汚れを掃除し、細胞を健やかにする「仙薬」としての飲み物として重宝されていました。

陸羽が書き残した世界最初のお茶の本「茶経」に記されている中国最初の名茶「紫笋茶」と「陽羨茶」にまつわる話や、酔うお茶「岩茶」（烏龍茶）の魅力にとりつかれ、中国茶サロンを開設した著者が、知られざる茶と中国思想の密やかな関わりを綴ったものがたりです。



『天変地異はどう語られてきたか 中国・日本・朝鮮・東南アジア』串田久治／著 東方書店《220/ク》

有史以前より、地震や台風、疫病などといった天変地異は、人間社会に大きな影響を与えてきました。人々はどのようにして天変地異と向き合ってきたのでしょうか。

天変地異が起こるのは王の治政に原因があるとして、権力者への圧力に利用された儒教。地震を仏や菩薩の神通力による吉祥とした仏教。災害を神の意思の表れとして、団結して復興に取り組んだイスラム教やキリスト教。現在においても関心が高い異常気象を巡る思想を、今こそ読み解いてみませんか。

『MY ROOM 天井から覗く世界のリアル 55カ国1200人のベッドルーム』

John Thackwray／著 ライツ社《748/サ》

なんて多様！色彩に溢れた部屋、足の踏み場もない部屋、鶏小屋の隣の部屋、家族7人で暮らす小さな部屋、先住民の音楽に囲まれた部屋…。

ドイツ、アメリカ、スロバキア、ジャマイカ、ペルー、中国、モロッコ、エジプト、インド等々、世界55カ国、18～30歳のベッドルームの写真集。部屋の写真から、その人の生き立ちや嗜好だけでなく、民族、戦争、貧困、差別などもみえてきます。写真に添えられているインタビューは淡々と語られていますが、考えさせられること、思わず息をのむ内容も。つぶさに写真を眺めるだけでも楽しい本です。



子ども向けBookガイド

2020年4月から6月までに入間市立図書館に入った子どもの本の紹介です。



『くすのきだんちのねむりいす』武鹿悦子／著 末崎茂樹／画 ひかりのくに《E/ひ2》

くすのきだんちのまえにわに、ロッキングチェアがおかれまして。こっとなこっとなゆれるいすに、すわるとみんないいきもち。きがつくと、ねむってしまいます。そんないすに、こぶたがすわると、いくらよんでもゆすっても、めをさましません。みんなでおこすほうほうをかんがえますが…？



『めんどくさがりなキミのための文章教室』はやみねかおる／著 飛鳥新社《816》

『都会のトム&ソーヤ』シリーズなど累計500万部以上の人気児童作家がおくる、小説を読むだけで、文章がうまくなる本。主人公の「文岡健」が奇妙な猫と出会うところから物語が始まります。猫は「温かい食事と毛布を与えてくれたら、作文を手伝ってやってもいいぞ」と言う。解説書のように難しい説明調ではなく、まるで小説を読んでいるような感覚で、文章がうまくなる本。

文章をうまく書きたい人も、そうではない人も是非一度手に取ってみてはいかがでしょうか。



ティーンズ向け

『図書室のバシラドール』竹内真／著 双葉社《Y913.6/たけう》



離婚を機に、直原高校の図書室で働き始めた詩織。将来を見据え、図書館司書資格を取るための勉強をはじめたのですが…。常連の生徒が家出したらしいと相談を受けた詩織は、彼が借りた本を手掛かりに行き先を推理したり、チャーシュー論争の解決に講演会を企画したりと、何かと慌ただしくて…。さて、詩織は、無事に図書館司書資格を取得することができるのでしょうか。

様々な出来事から、読書で得られるものや、本を通じた人とのつながりについても考えさせられます。

「図書室のキリギリス」「図書室のピーナッツ」に続く第3弾。作中に登場する本が、【本書に登場する本】として紹介されているので、そちらもぜひ読んでみたい。